

2000年6月 定例会（第253回）-06月12日-05号

◆八番（今井光子君） ただいま中辻寿喜議員から提案されました意見書第六号、少子化社会における子育て支援施策の推進を求める意見書案に賛成します。

◆十三番（中辻寿喜君）（登壇） 意見書第六号、少子化社会における子育て支援施策の推進を求める意見書案につきましては、意見書案文の朗読をもって提案にかえさせていただきます。

意見書第六号

少子化社会における子育て支援施策の推進を求める意見書（案）

現在、わが国においては、急速な高齢化が進む一方で、核家族化の進行、女性就労の機会増大、出生率の低下等を背景として少子化傾向が一段と進行している。

このことは、今後わが国の社会基盤を揺るがす深刻な問題である。

こうした中、少子化対策として、国や地方公共団体においてはさまざまな措置が講じられてきたところであるが、抜本的な解決にはいたっていない現状にある。

このため、安心して出産し、子育てができる環境づくりに向けた施策を講じることが喫緊の課題であると考えます。

とりわけ、わが国の経済が低迷を続ける中であって、地方公共団体や家庭への財政的支援策を一層図ることが必要不可欠である。

よって、国におかれては、少子化社会における子育て支援を強力に推進するため、先に策定された「重点的に推進すべき少子化対策の具体的実施計画について（新エンゼルプラン）」に盛り込まれている各種施策を着実に推進されるとともに、次の事項について特段の配慮をされるよう強く要望する。

- 一 子育ての経済的負担を軽減するため、児童手当制度を更に充実すること。
- 一 乳幼児等に対する国の公費負担医療制度を早期に創設すること。
- 一 保育所整備について、事業量に見合う予算枠を確保するとともに、国庫補助基準額及び基準面積の引き上げを図ること。
- 一 延長保育や夜間保育、休日保育等利用者のニーズに柔軟に対応できる多様な保育サービスの提供に向け、所要の財源を確保すること。
- 一 放課後児童健全育成事業の拡充を図ること。
- 一 児童虐待について、早期発見・早期対応に向けての体制の整備、被虐待児・虐待者に対する心理的ケアの充実など、総合的な施策の充実を図ること。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成十二年六月十二日

奈良県議会

何とぞ議員各位のご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（松井正剛君） ただいまの動議は、正規の賛成があつて成立いたしました。

よつて、直ちに議題といたします。

お諮りいたします。

意見書第六号については、十三番中辻寿喜君の動議のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声起こる）

ご異議がないものと認め、さように決し、会議規則第四十一条の二の規定により措置することにいたします。